

令和元年度病害虫発生予察指導情報
対象病害虫：ナシ黒斑病

令和元年10月2日
鳥取県病害虫防除所

表1 ナシ黒斑病の新梢葉の発病状況(令和元年)

地 区	新 梢 葉 の 発 病 率 ¹⁾ (%)								
	6 月			7 月			9 月		
	本 年	前 年	平 年 ²⁾	本 年	前 年	平 年 ²⁾	本 年	前 年	平 年 ²⁾
河原町	1.4	8.4	1.9 ³⁾	13.4	18.3	9.6	26.8	57.1	14.8
佐治町	1.5	19.0	2.6	21.9	26.8	7.7	37.4	54.9	12.4
青谷町	0.5	- ⁴⁾	- ⁴⁾	1.3	- ⁴⁾	- ⁴⁾	5.7	- ⁴⁾	- ⁴⁾
八頭町	0	2.4	0.3	0.9	1.7	1.4	9.6	1.6	2.9
湯梨浜町(別所)	0.5	2.0	1.3	1.0	3.5	1.5	1.9	6.7	2.9
湯梨浜町(勝負谷)	2.4	0	0.6	4.7	5.6	1.0	15.8	5.0	2.4
倉吉市	1.3	0	0.3	2.6	2.5	1.4	11.0	3.1	2.5
北栄町(園試)	1.5	3.8	2.2	23.9	5.2	8.7	38.0	9.6	21.3
琴浦町	0	1.0	0.7	4.0	9.1	2.6	10.6	1.8	2.2
大山町(中山1)	0	0	0.2	0.9	0.5	1.9	6.4	3.5	4.9
大山町(中山2)	1.8	- ⁴⁾	- ⁴⁾	0	- ⁴⁾	- ⁴⁾	1.4	- ⁴⁾	- ⁴⁾
南部町	0	- ⁴⁾	- ⁴⁾	0	- ⁴⁾	- ⁴⁾	2.4	- ⁴⁾	- ⁴⁾
平 均	0.9	4.1	1.1	6.2	8.1	4.0	13.9	15.9	7.4

(注)

- 1) 1園あたり10新梢について全葉数及び病葉数を調査
- 2) 平成21～30年の平均値
- 3) 平成22～30年の平均値
- 4) 令和元年より調査地点を変更した。

<要約>

9月25日、26日に行った県内巡回調査の結果、新梢葉における発病率は13.9%（平成7.4%）であり、平年に比べてやや多い発生量であった。

<対策>

今後、収穫後の防除を行っていない園では収穫後防除を実施する。防除薬剤はアントラコール顆粒水和剤の500倍液等がある。